

あったかコンサート

2006年 1月29日(日) 16:00 開場 16:30 開演

福岡市市民福祉プラザ『ふくふくプラザ』ホールにて

バリアフリーって何だろう？

バリアフリー＝バリア（障壁、さえぎるもの）がないこと

■バリアフリーとは

障がいのある方が社会で生活していく上で障壁（バリア）となるものを除去するという意味で、昭和49年（1974年）国連障害者生活環境専門家会議が「バリアフリーデザイン」という報告書を出したころから、この言葉が使用されるようになりました。もともとは建築用語として登場し、建物内の段差の解消等物理的障壁の除去という意味合いが強いものの、広く障がいのある人の社会参加を困難にしている社会的・制度的・心理的な総ての障壁の除去という意味でも用いられています。一般的に4つのバリアがあるといわれています。

・物理的なバリア

段差があったり、幅員が狭かったりして車いすで通れないなど、物理的なもの。容器の形が同じだと、目の不自由な方にはわからない。画面タッチ式キャッシュコーナーは目の不自由な方はキーをタッチできない等。

・制度的なバリア

障がいの有無や級によって資格などが制限されること。盲導犬連れが利用できないホテル・レストラン。幼児連れおこたわりのお店も。

・文化・情報面でのバリア

文化活動をするチャンスや必要な情報が平等でないこと。カルチャーセンターの講座に手話通訳や託児がなかったりする。目や耳の不自由な方への情報が不十分なこと等。

・意識上のバリア

差別し、あざける心。無理解等。また、認識不足のため言動によって相手を傷つけたりする心のバリア。駅前の迷惑駐輪。通学路や車いす用駐車スペースでの迷惑駐車。店の前の点字ブロックの上に看板を置くこと等。

私たちの考えるバリアフリーコンサート

このコンサートは、小さな子どもがいる家族も、体に不自由がある方も、気軽に参加出来るコンサートがあったらいいな…。そんな思いを出発点にスタートしました。

ベビーカーや車椅子に対応があったり、手話や字幕がついていたり。希望があれば託児を利用できたり…。どんな人でも垣根なく集えるコンサート。本当はバリアフリーコンサートなんてわざわざ言わなくても、私たちがめざすコンサートのカタチが、どんなコンサートであっても当たり前で、ごくごく自然なカタチであつたら、素晴らしい。そして、そんな世の中であつてほしい…という願いを込めて、私たちは、このコンサートづくりに取り組んでいます。

今回は、シンガーソングライター浦田剛さんとコンサートを作ります。

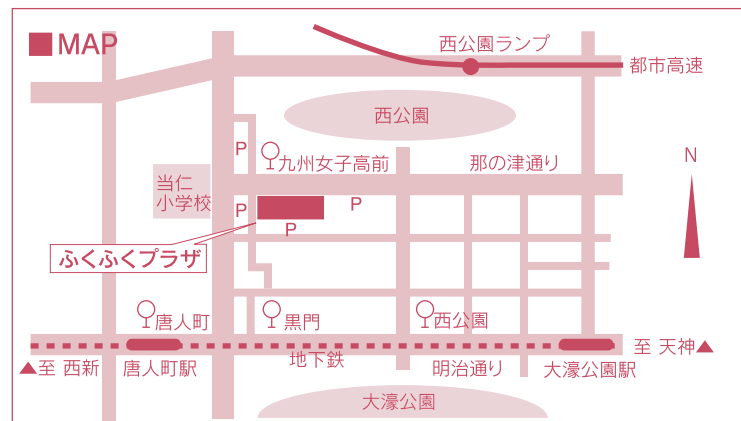
そして今回一番核にしていきたいのは「心のバリア」。

バリアフリーという言葉の出発は、ひとり一人の「心」を大切にしたい。みんな元気に生きて欲しいという共通の思いに違いありません。身体に不自由があつても、そんなことはお構いなしに元気バリバリな方がいます。体は大丈夫でも、心が辛い方がいます。

「雲は雲、空は空、キミはキミ」「いつの日も君自身が主人公」と歌う、浦田剛さん。彼の詩はそんなみんなへの心の応援歌！！

そんな力を与えてくれる彼の歌を、手話でうたい、沢山のひとたちと共うたう。思い合いの場を共有し、心を解き放つて楽しい時間を過ごしましょう。私たちは、この「あったかコンサート」で、ステージと客席の間のバリアも、できる限りはずしたい。暖かい手作りコンサートを目指しています。／実行委員一同

▼ふくふくプラザ／福岡市中央区荒戸3丁目3-39 TEL:092-731-2929



福岡市営地下鉄 ■唐人町駅4番出口から徒歩約7分

■大濠公園駅1番出口から徒歩約10分

西鉄バス

■黒門バス停から徒歩約5分

■九州女子高前バス停すぐ

昭和バス

■唐人町バス停から徒歩約7分

●駐車場／地下に駐車台数62台の駐車場があります。その内、障害者専用の駐車スペースは12台(内、車いす専用7台)です。料金(一般)は、30分までごとに100円です。なお、近くに有料駐車場が数カ所あります。

実行委員会へのお誘い

このコンサートは、子育て中のお母さんと学生、サラリーマンなど様々な人が集まって楽しくコンサートを準備中。前日まで、一緒にコンサートの運営を手伝って下さるボランティアスタッフを募集中です。たくさんの方と出会い、にぎやかにコンサートづくりをしていきたいと思っています。

幼児の一時預かり（託児）について

託児を御希望の方は、前日までに御連絡ください。

●コンサートについてのお問い合わせ、スタッフになりたい方、託児のお申し込みは 090-7164-9690 平井まで

主催：バリアフリーコンサート実行委員会 後援：福岡市教育委員会